

ネットワーク仙台 no. 64



まもなく4月。来年度は元号改正や翌年の東京五輪を控え、新たな気持ちを胸に、様々な機関・団体がたくさんの事業を展開していく年度になることと思います。

今回は、会員訪問の内容や会員の活動、新規加入会員、昨年11月に福島県で開催された全国研修交流会についてご紹介・ご報告します。

会員訪問を行っています

仙台支部事務局では、会員の皆様の活動状況やニーズの把握のため、会員の事務所を訪問してお話を伺ったり、活動の見学をさせていただいております。12月～2月は、3団体にお邪魔しましたので、ご紹介します。

なお、今後も会員の皆様のところへ伺う予定としております。

訪問前にはお電話を差し上げますので、無理のない範囲でご協力ください。

(1) 一般社団法人WATALIS〔亙理町〕

イベント、芸術・文化、交流、ネットワーク

震災後の平成24年4月に、引地代表理事を中心に、手仕事によるものづくりなどをおおして、古き良き習わしや感謝の心をかたちにし、復興を願う地域住民の安心・安全なコミュニティをつくることを目的に活動を開始しました。「亙理町(WATARII)」と「TALISMAN(“お守り”という意味です)」を組み合わせた「WATALIS(ワタリス)」という団体名にも、復興への願いが込められています。

町内にある「中町カフェ」を活動拠点に、心を癒やすこと、ものづくりを楽しむことを目的として定期的開催している「手仕事ワークショップ」では、フラワーアレンジメントや防災グッズといった様々なものづくりをおおして、地域住民を中心に交流の輪が広がっています。また、最近では、こうした活動に加えて、地域の文化や昔ながらの遊びが地域の中で大切にされてきたことを思い出し、伝えていくことをさらに重視した「地域文化を学ぶ体験講座」を開催するなど、より地域に寄り添う活動を目指しています。

参加者にはリピーターも多く、ワークショップや体験講座に参加した方が、その後、講師として事業に参画するなど、活動の継続性や広がりも出てきています。

今後は、従来の活動を継続しつつ、町内外の他団体と連携したコミュニティづくりや地域文化・伝統継承のための活動を行っていきたいとのことでした。

(HP：<http://watalis.jp/>)



【ワークショップの様子】

(2) NPO法人とうほく食育実践協会(仙台市)

農林水産・福祉・教育、環境・景観、食育

食育活動の推進をとおして、健康な食生活の普及と次世代の健全育成に資することを目的に、工藤理事長を中心に、食育コンダクター養成講座のほか、映画上映会や料理体験教室などの食育企画を実施しています。食育コンダクターとは、食にまつわる生産、流通、加工、社会情勢を様々な視点から理解する取組を推進する語り部のことです。

年に複数回にわたり実施している料理体験教室「食育フェス」は、食育コンダクターによる説明を交えながら、料理や調味料づくりをとおして、無農薬の作物や添加物、食品の保存方法など、食に関する多様な知識を学ぶことができる、人気のイベントです。

また、事務所兼店舗として運営している「食らぼ Little Beans (りとる びいんず)」では、ランチやお弁当の提供のほか、無農薬栽培を目指し努力する生産者を応援するための野菜マルシェや、生協あいコープみやぎと連携しての食事会の開催、「本のレストラン」と題した食育・環境関連の本の選定・展示などの活動も行っています。

このほか、小学校の総合学習の時間での出張講座を実施するなど、地域に根差した活動を行っており、今後も、工夫を凝らしながら、食に関する知識を広める様々な活動を推進していきたいとのことでした。



【食育フェスの様子】

(HP : <https://www.touhokusyokuiku.com/index.html>)

(3) 利府太鼓(利府町)

芸術・文化

平成2年に「利府太鼓愛好会」として結成以来、(公財)日本太鼓財団の公認指導員の資格をもつ高橋代表を中心に、町内の夏祭り、催事、ボランティア活動、小・中学校行事などに積極的に参加し、地域文化の発展と活性化、地域振興の一助となることを目的に活動しています。

メンバーには非常に熟練した腕前の方もおり、当団体の実力は県内屈指を誇ります。毎週の定期練習のほか、県外を含め年間約20~30のイベントに参加しており、毎年町で開催される「十符^{とふ}の里フェスティバル」や仙台藤崎の初売り行事などをはじめ、様々なところで演奏を行っています。

県内外でのイベント・大会や講習会への参加は、他団体の方と交流をとおして見聞を広める貴重な機会にもなっています。和太鼓は海外にも広がりを見せており、日本太鼓ジュニアコンクール全国大会では、台湾やブラジル、アルゼンチンなどの団体が演奏することもあるため、メンバーは非常に刺激を受けています。

また、和太鼓の普及活動として、町内の小学校のクラブ活動での指導や、町教育委員会からの依頼による演奏、独自での「子ども教室」開催などの活動も行ってきました。

今後も、様々なイベント等での演奏を継続するほか、次世代への和太鼓の普及活動にもより力を入れていきたいとのことでした。



【演奏風景】

(HP : <https://rifudaiko.jimdo.com/>)

会員活動情報

平成31年1月23日～24日 一般社団法人WATALIS主催
地域の食文化伝承事業が開催されました！ （仙台支部交流促進助成金活用事業）

町内で一人暮らしの高齢者の方々の農作業・交流支援を行っている「特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト」と連携し、地元で採れたサツマイモと落花生を素材としたお菓子づくり・試食会を行い、地域の作物を活かしたメニューの検討、地域の食文化の伝承と世代間交流を図りました。2日間でのべ約30名が参加し、パウンドケーキ、クッキー、パンプディングを試作し交流を行いました。地域の食材に関する意見を交わし合うほか、参加者からは「自分が栽培した農作物がお菓子になっているのを見て、農作業への意欲が高まった」などの声もあり、充実した交流の場となりました。

主催者より：

被災地域内で活動する団体同士が連携して事業を実施することで、互いの活動への理解も深まっています。次年度も継続して実施することで、関わる人の環をさらに広げ、内容も充実させていきます。



【交流の様子】

新規会員のご紹介



◆せんだいワイズ会（HP：<https://sendaiys.jimdoofree.com/>）

代表：遊佐敏和 設立：H25.4 活動分野：イベント、交流、ネットワーク

活動概要：仙台宮城エリアで活動する「向上心のある」事業所（法人・個人・団体・会社員等）間での交流会、勉強会、事業説明会等をつうじた交流により、互いに高めあい共に活動するビジネスチーム作りを目指しています。

◆一般社団法人WATALIS（HP：<http://watalis.jp/>）

代表：引地恵 設立：H24.4 活動分野：イベント、芸術・文化、交流、ネットワーク

活動概要：東日本大震災の被災地である亘理町を拠点に、手しごとワークショップ事業、セミナー開催、コミュニティカフェ事業等をとおして、地域内外の方々同士の「人と学びの環」を創ります。

◆NPO法人とうほく食育実践協会（HP：<https://www.touhokusyokuiku.com/index.html>）

代表：工藤恭子 設立：H19.11 活動分野：農林水産、福祉・教育、環境・景観、食育

活動概要：食育コンダクター養成講座の実施、料理講習会「食育フェス」の開催や「食らぼ Little Beans」の運営・その他企画をとおしての食育啓蒙活動、「本のレストラン」と題した食育や環境に関する本の選定事業などを行っています。

平成30年1月16日～18日

地域づくり団体全国研修交流会福島大会 「ふくしまからはじめよう。～未来を拓く地域づくり～」レポート

震災からの復興・発展を目指す福島県を会場に、全国協議会主催の研修交流大会が開催されました。当支部からは赤坂支部長（まちづくり遊楽塾）と草野さん（みやぎジョネット）が参加しました。お二人が参加した昭和村での分科会も含め、ご報告します。

◆全体交流会、全体会（16日）

震災による営業停止から7年の時を経て一部営業再開した「Jヴィレッジ」を会場に、約200名が参加し、立食形式で開催されました。スパリゾートハワイアンズによるフラダンスの歓迎セレモニーや、福島県広野町長と楡葉町長の開会・歓迎挨拶、福島県が誇る地酒の提供などもあり、華やかな交流が行われました。

◆全体会（17日午前）

福島県知事の歓迎挨拶の後、11分科会それぞれの活動紹介と次回開催県の兵庫県の地域づくり活動の紹介がありました。

◆分科会「からむし織とカスミソウの里「昭和村」～昭和へ帰ろう～」（17日～18日）

お二人が参加した第7分科会は県の西部に位置する昭和村。伝統織物の上布（じょうふ：上質の麻糸で織った軽く薄い織物）の原料となる「からむし」を栽培生産している本州唯一の村であり、カスミソウの栽培面積も夏秋期にかけて全国一を誇ります。

分科会では特産品の「からむし織」と「カスミソウ」を活かしたまちづくりの説明、村長も出席しての夕食懇談交流、道の駅「からむし織の里」等関連施設の視察、意見交換が行われました。からむし織体験生事業では、100名以上の体験生を全国から迎え、3割が定住しています。カスミソウ栽培に取り組む新規就農者も着実に増えており、研修生受入施設「かすみの学校」と出荷施設「雪室」をつくり品質向上に努め、現在は日本有数の産地となっています。



～参加したお二人より～

【全国有数の生産を誇るカスミソウ】

- ・全体交流会では積極的に声がけいただき、参加者と気持ちよく交流ができました。
- ・分科会では、移住者との交流で地域移住の課題等、充実した意見交換ができました。
- ・交流や視察をとおして、町民目線でまちづくりに取り組む姿勢と熱意を感じ、高齢化などの課題も抱える中、若い世代の再訪や移住が増えている理由を知ることができました。
- ・地域に住み続けることが村の魅力になっていると感じ、宮城の被災地のまちづくりも、そこに暮らしてきた方々の営みの先にあるものだと改めて思いました。

発行〔みやぎ地域づくり団体協議会仙台支部事務局〕
（宮城県仙台地方振興事務所地方振興部 担当：嶋貴）
〒981-8505 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
TEL:022-275-9114/FAX:022-275-0296
E-mail: sdsinbk@pref.miyagi.lg.jp
支部ホームページ: <http://www.pref.miyagi.jp/site/kouiki-sendai/tiikidukurisendai29-7.html>

メール等でも各種情報を発信しています。イベント等の情報がありましたら、はお寄せください！